



## ランドセル1024個、被災地へ

### 文京学院大生ら「大作戦」

文京学院大学（ふじみ野市）の学生たちが3月末から、「ランドセル大作戦」を始めたところ、今春、市内の小学校を卒業したばかりの児童らから続々と集まり、5日現在で1024個に達した。学生たちは8日、トラックに積み込み、

宮城県の気仙沼市や石巻市に向けて出発する予定だ。さいたまアリーナなどでボランティアをしていた中山智晴・人間学部環境教育研究センター長のゼミ生らが被災者支援について話し合っている小学生にランドセルを贈ることにした。

そこで、大学が包括協定を結ぶ同市に協力を依頼。市内13の小学校を通じて、3月に卒業した児童や保護者に協力を呼びかけた。すると、他の団体を通じたものも含め、今春の卒業生の数に相当する数が学校などに集まり、被災地に届けることにした。

学生たちは各学校を回り、市内の小学校に通い始める児童の分を除いて、ランドセルを回収。一つ一つ丁寧に磨き、袋詰めした写真。他の学生にも呼びかけて、「一緒に頑張ろう」「応援してるよ」などのメッセージを書いた手紙も添えた。

被災地で活動を続ける学生団体なども連携し、9日と10日に、各小学校などを回って渡す予定だ。

（加藤真太郎）